

笠間 弥路 K A S A M A M I R O

- 1983 宮城県生まれ
- 2006 多摩美術大学 美術学部彫刻学科卒業
- 2007 Ecoles Nationale Supérieur des Beaux Arts de Paris 交換留学
- 2008 京都市立芸術大学大学院 美術研究科彫刻専攻修士課程修了

〈主な展覧会歴〉

- 2011 「ユートピアのお知らせ」アキバタマビ21(東京) 個展「屋根の下と、眠る人へ。」Gallery 301(兵庫)
- 2012 「Les Phénomènes s'émurent - 一切の事象が蠢きはじめた。」京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA(京都)
- 2013 「KYOTO STUDIO」京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA 「Art Court Frontier 2013 #11」ARTCOURT Gallery(大阪)

毎日空を眺めていました。日の出、日の入り、星空、月の時間。神話の土地を歩き、古代のスターの痕跡を通り、神様の社に頭を下げました。そして、最後に星空の下にひっそりと、白く輝く大根みつめました。星空の下に土をきりひらいてきた人々の物語を実感できる、美しい景色でした。飛鳥には既に多くの物語があります。遺跡や石像はすでに完成されており、きっかけにするには難しいと感じました。空や星は今のものでも昔のものでもあるものです。歴史というのは想像する事実の一部に過ぎません。残っているものが全てではなく、もっと多くの物語があったのだと思います。現存する数々の道跡や石造は、知られざる物語と私たちの間を行き来し、想像の世界を開いてくれるのです。そして小さな石ころもきっと過去の物語を持っています。現実と想像の境界を曖昧にする様に、そして多くの時の複雑な混在を表現する飛鳥を表現したいと思いました。



(If my house falls down, glass will grow there.) 写真、石、コラージュ、ランプ

